

内部監査体制の整備から

年次監査計画のグランドデザイン

「内部監査実務マスター・コース」〔第1回開催分（全9会合）〕

- 日 時 ● 2016年9月20日（火）14:00～17:00
- 会 場 ● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
- 講 師 ● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人

30年余りの大手監査法人勤務のうち、前半は主に会計監査に従事し、後半は国内外の数多くの企業に対する内部監査の支援やコンサルおよび外部評価、J-SOX・US-SOXの内部統制支援、不正調査およびリスク管理等のアドバイザリー業務の経験を経て、2012年、新日本有限責任監査法人シニア・パートナーを退任し、現在はUDトラックス株式会社監査役/ABボルボのコーポレートオーディット・ダイレクターとして監査実務を継続中。一方で内部監査関連の執筆や講演活動にも従事、豊富な実務経験をベースに具体的事例を交えた実践的でわかり易い語り口で好評。最近の著書「内部監査の課題解決法20」税務経理協会、論文「海外監査の検討課題～成熟度レベルに応じた問題認識と対応」一般社団法人日本内部監査協会「月刊監査研究」2013年11月号、「リスクマネジメントに対する内部監査の対応～最適化シナリオに向けて」同2012年3月号掲載。公認会計士、公認内部監査人、米国公認会計士（現在 inactive）。

●プログラム●

■ 講義／内部監査体制の整備から年次監査計画のグランドデザイン＜14:00～16:00＞

個々の内部監査業務の実効性を上げるには、その前工程となる年次の計画作業や体制の構築が極めて重要です。これが十分にできて全体としての企業監査の目的が達成可能になります。それは、第1に、企業としての監査の目的にベクトルを合わせた監査業務の管理の仕組みを整備すること、第2に、経営層の期待に整合したリスク評価をすること、第3に、リスクベースの年次監査計画を策定することです。この点、リスクを見ているようで実はリスクベースになっていない内部監査部も見受けられます。これら一連のグランドデザインの検討が今回のテーマです。経営層の意向に合わせてリスクを認識してこれを年次の監査計画につなげるには、それぞれの活動における技術ノウハウや作業プロセス、それを支えるインフラの整備とともに、これを実行するプロジェクト管理の仕組みと能力が必要となります。その基本形を提示するとともに、実務上の課題を検討していきます。

1. 経営者志向の内部監査のマネジメント -PDCAの構築
2. 年次リスク評価実務と監査計画へのつなぎ方 -リスクベースの作り方
3. 監査パターン(経営監査、業務監査等)と年次計画のグランドデザイン

- 講義をベースとした（グループ）ディスカッション&総括コメント ＜16:00～17:00＞
～自由討議・意見交換の中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

●参加要領●

●受講料：1名（資料代含む）

正会員	28,080円	一般	31,320円
-----	---------	----	---------

〔本体価格 26,000円 本体価格 29,000円〕

* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者をご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先（社） 企業研究会

担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 03-5215-3516/FAX 03-5215-0951～2

160188	2016 9/20 内部監査実務マスター・コース		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			

※裏面もご覧ください